

※  内は、ロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

〔設置条件〕

- ・母屋の屋根からの雪が直接当たらない場所に設置してください。
- ・カーブポートシグマV（一般地域用600タイプ）は積雪（新雪）20cm以下の地域用です。
- ・本製品は、地上階に取付ける設計になっています。2階以上の高所には取付けないでください。強風にあおられるおそれがあります。
- ・柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
- ・崖などの高低差のある場所には設置しないでください。
- ・風当たりの強い場所に設置する場合は、風にあおられないよう前枠を建物側に向けて設置してください。（丘陵地・田畑・野原・海岸沿い、又は風を妨げる物のない平地に隣接した場所など）



〔部材の固定〕

- ・タッピングねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
- ・必ず指定の組立てねじ・ボルトで固定してください。

〔基礎〕

- ・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- ※地下埋設物（給排水管など）に影響を与えないでください。
- ・寒冷地で凍上のおそれがある地域に取付ける場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。

- ・基礎には、海砂・急結剤・凍結防止剤を使用しないでください。柱が腐食するおそれがあります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・養生期間は十分（4日～1週間以上）とり、その間重い物をのせたり振動を与えたりしないよう指示してください。

〔施工〕

- ・取付けは、専門業者の方が行ってください。
- ・指定以外の改造・変更（階段屋根・母屋への取付け・4周の囲いなど）をしないでください。
- ・当社指定の付属品以外は取付けないでください。
- ・必ず当社指定の屋根パネルを使用してください。

●水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

〔シーリング処理〕

- ・指定の個所にコーキング材を充てんしてください。

●製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

〔絶縁処理〕

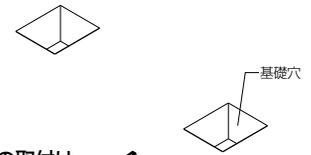
- ・亜鉛・ステンレス以外の金属とアルミ形材が接触する場合は、絶縁処理をしてください。

■施工上のお願い

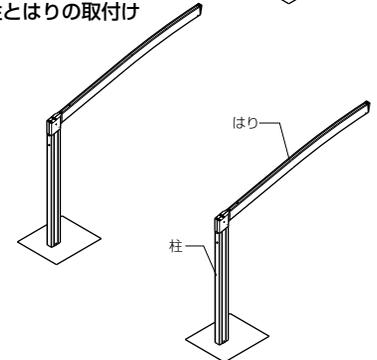
- 水平・垂直は正確に出してください。施工に支障がでるおそれがあります。
- 屋根の上にものをのせないでください。

■取付け順序

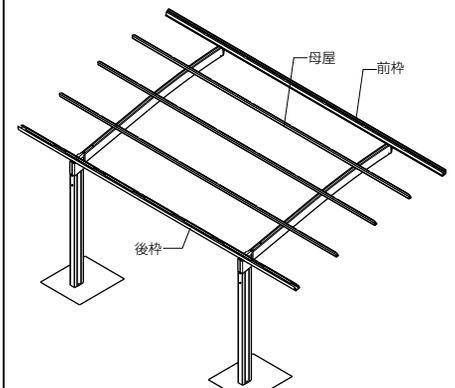
1 基礎の施工



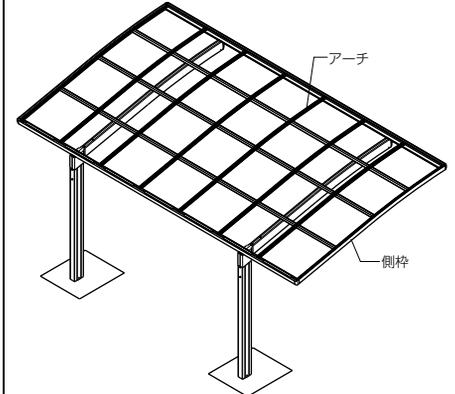
2 柱とはりの取付け



3 前枠・母屋・後枠の取付け



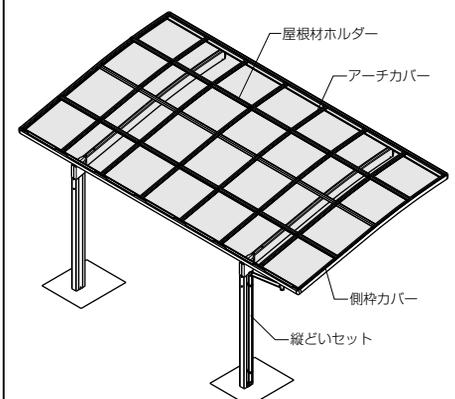
4 側枠・アーチの取付け



5 屋根パネルの取付け

6 アーチカバー・側枠カバー・屋根材ホルダーの取付け

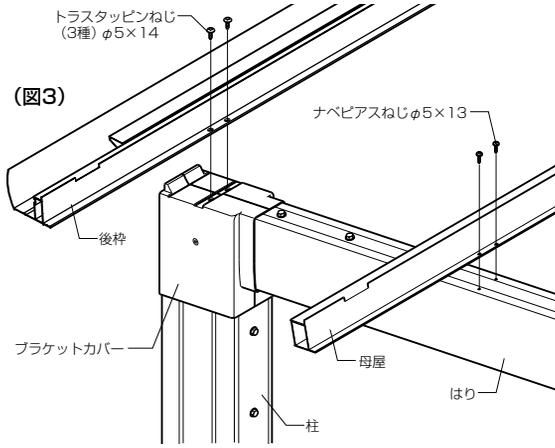
7 縦どいセットの取付け



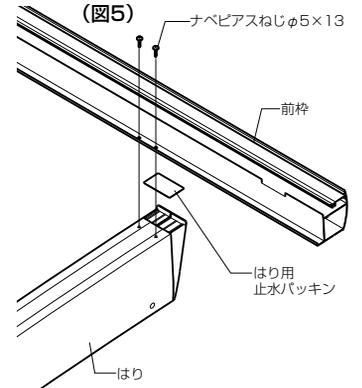
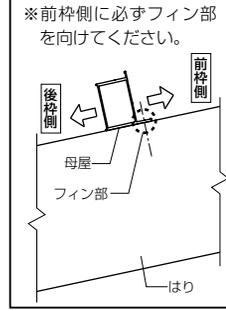
3 前枠・母屋・後枠の取付け

- ①後枠をブラケットに取付けます。(図3)
- ②前枠側にフィン部を向け、母屋をはりに取付けます。(図4)
- ③はりの先端に止水パッキンを取付け、前枠をはりに取付けます。(図5)

※柱を移動した場合は、前枠・後枠・母屋をはりに合わせて、後枠はφ5.5、前枠・母屋はφ4.5の穴加工を行ってください。
 ※既存の加工穴には穴ふさぎシールを張ってください。

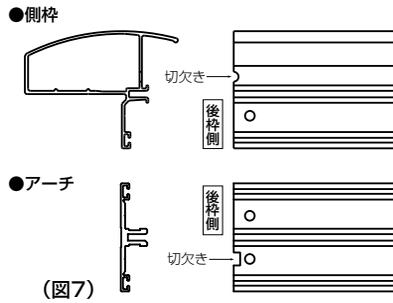
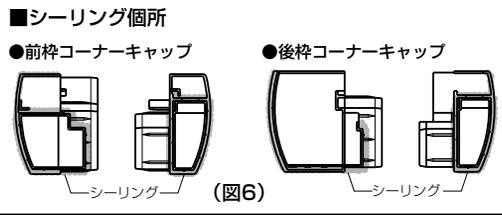


(図4)



4 側枠・アーチの取付け

- ①前・後枠コーナーキャップにコーキング材を充てんし(図6)、側枠を取付けます。
 ※側枠には左右があります。切欠きが入っている方を後枠側にしてください。(図7)
- ②前・後枠・母屋に側枠を取付けます。
- ③アーチの前後を確認し(図7)、取付けます。
- ④屋根枠まわりの対角・水平出し及び柱の垂直出しをします。



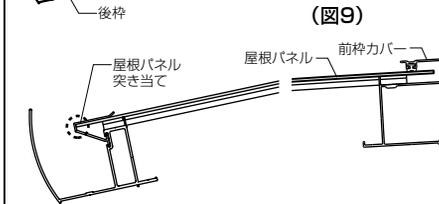
前・後枠、母屋には加工穴があいていません。側枠・アーチ側の穴に合わせ、ナベピアスねじφ4×13で止めてください。

5 屋根パネルの取付け

- 屋根パネルを前枠カバーに差込み、パネル受けに差込んでください。
 ※屋根パネルは後枠側に突当ててください。(図9)
- ※アーチ部のみ込み寸法は、左右均等(16.5mm)にしてください。

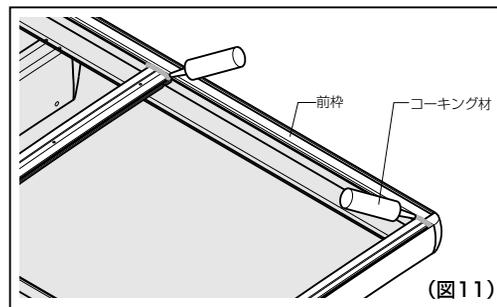
■屋根パネル寸法表 単位mm

サイズ呼称	ℓ	W
24	2388	689
27	2694	
30	3018	

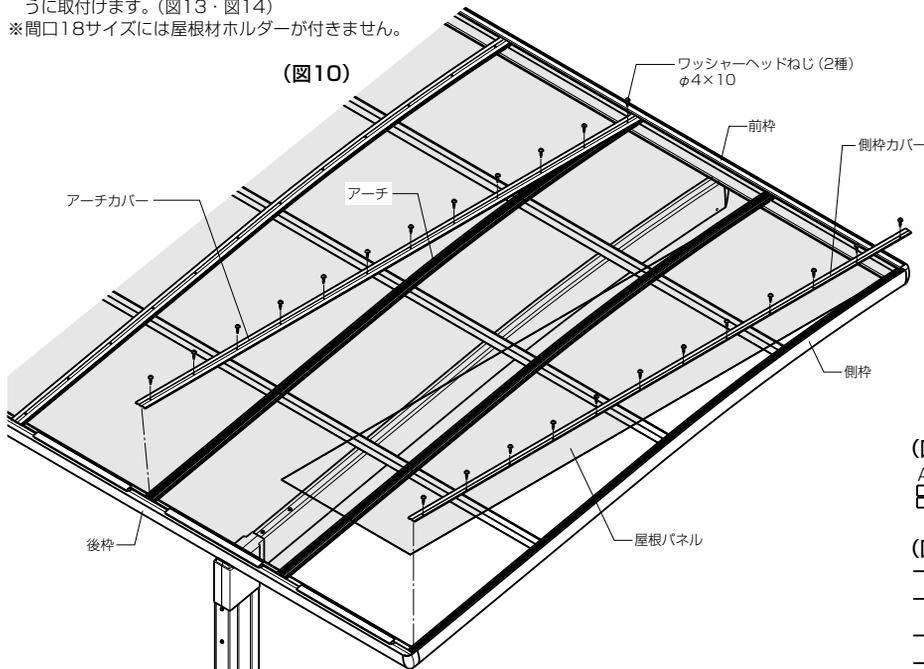
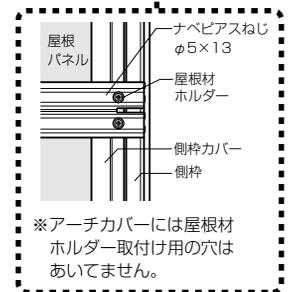
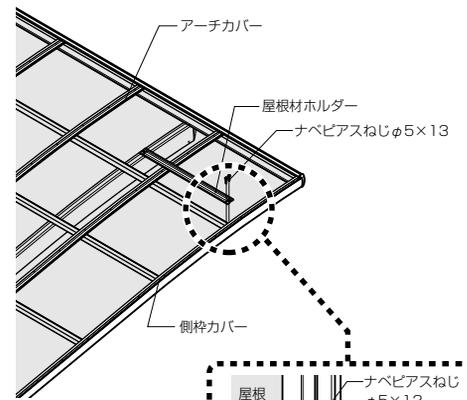


6 アーチカバーの取付け

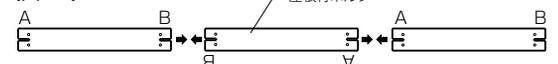
- ①アーチカバー・側枠カバーを前枠に突当てます。
- ②前枠側から屋根パネルにねじ止めします。(図10)
 ※アーチとかみ合っていることを確認してください。
- ③前枠との間にコーキング材を充てんします。(図11)
- ④屋根材ホルダーを、後枠側、前枠側から数えてそれぞれ1本目の母屋の位置にねじ止めします。(図12)
 ※アーチカバー、側枠カバー側のねじのみ固定し、反対側は次の屋根パネルとアーチカバーを取付けた後で固定します。
 ※2本目以後の取付けは、1本目の屋根材ホルダーと反対向きにして、切込み部分をかみ合わせるように取付けます。(図13・図14)
 ※間口18サイズには屋根材ホルダーが付きません。



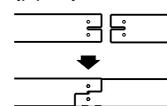
(図12)



(図13)

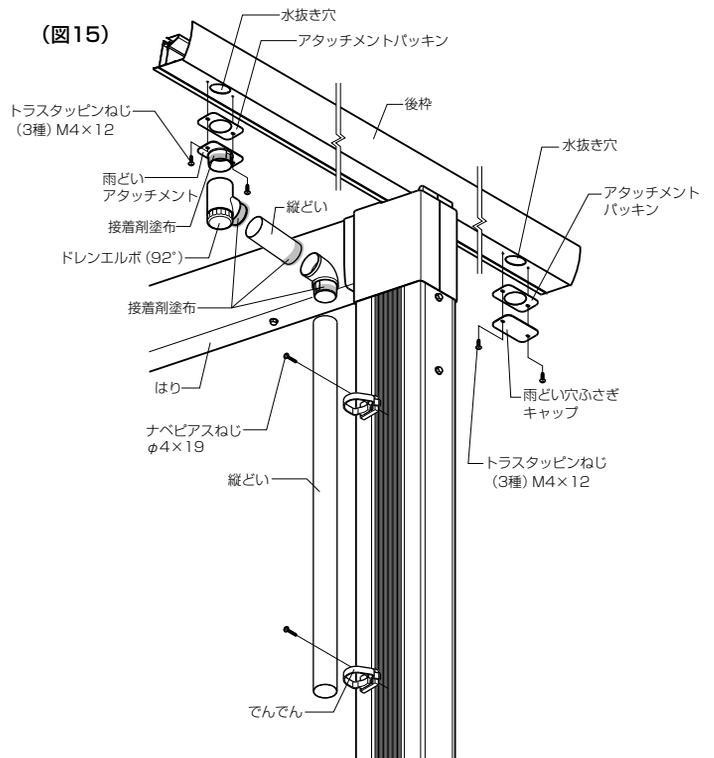


(図14)



縦どいセットの取付け

- ①後枠両端にある水抜き穴のうち、片方に縦どいセットを取付けます。(図15)
- ②もう一方の穴に雨どいアタッチメント(穴ふさぎ)を取付けます。



縦連棟の取付け

1 基礎の施工

- 柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘込みます。
- ※基礎構造については基本タイプを参照してください。

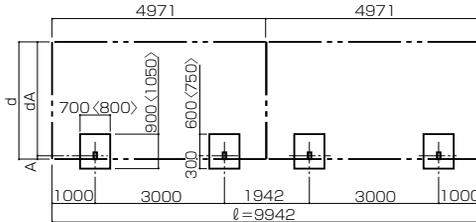
■露出し位置

- ※柱の移動は±100mm以内です。
- ※ < > 内寸法は30サイズの場合を示す。

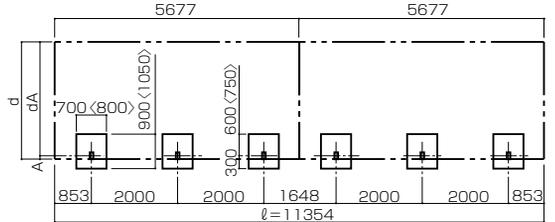
サイズ呼称	d	dA	A
24	2401	2319	81
27	2701	2619	81
30	3000	2917	83

単位:mm

●50サイズ+50サイズ

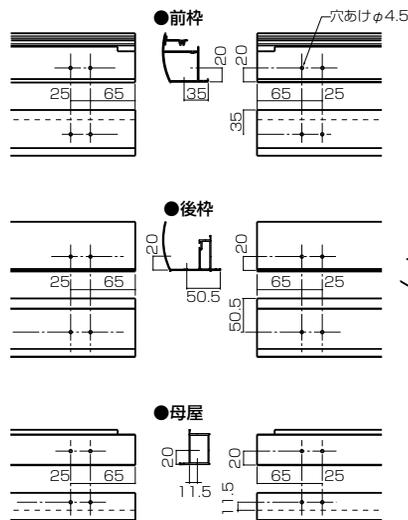
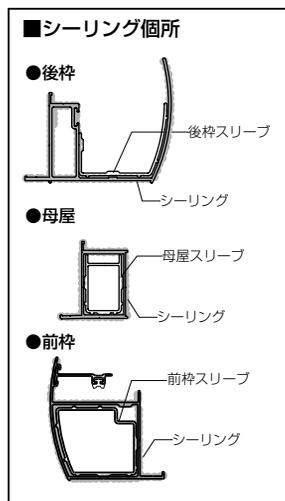


●57サイズ+57サイズ

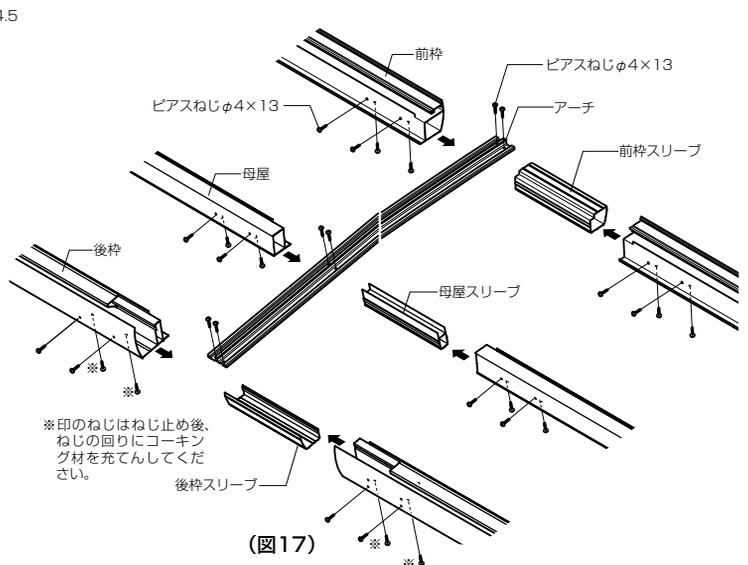


2 本体の組立て

- ①組立て前に、前枠・母屋・後枠の連棟側を現場加工してください。(図16)
 - ②連棟部分を組立てます。(図17)
- ※連棟部分にコーキング材を充てんし、連棟スリーブ・前枠・母屋・後枠をそれぞれ接続します。
 - ※連棟部分以外の組立ては、基本タイプを参照してください。



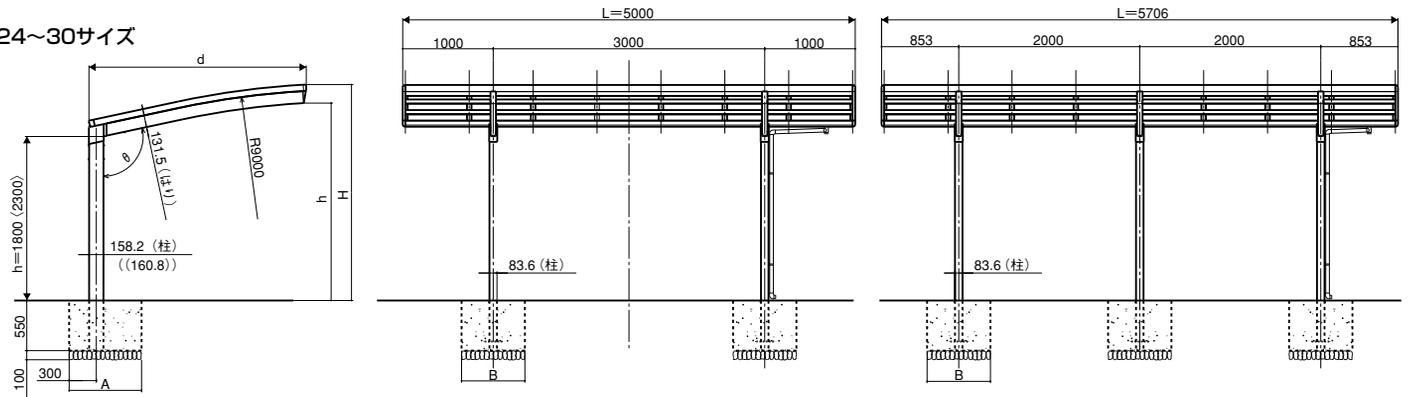
(図16)



(図17)

●基本タイプ

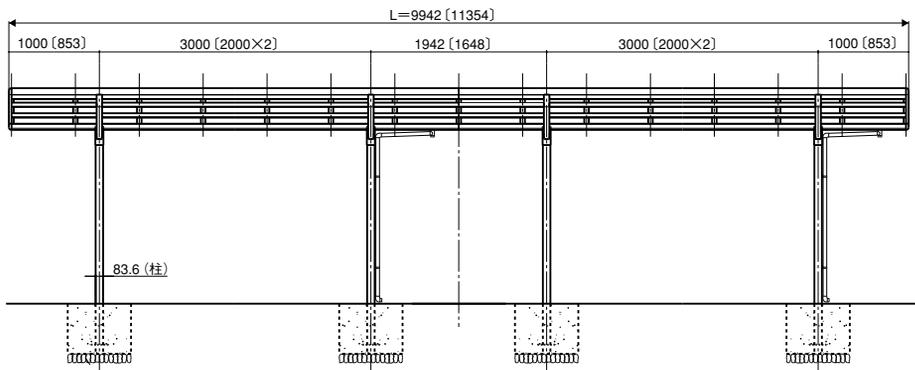
24~30サイズ



サイズ	d	h	H	A	B	θ
24	2401	2167 (2667)	2370 (2870)	900	700	102
27	2701	2231 (2731)	2434 (2934)	900	700	102
30	3000	2377 (2877)	2580 (3080)	1050	800	105

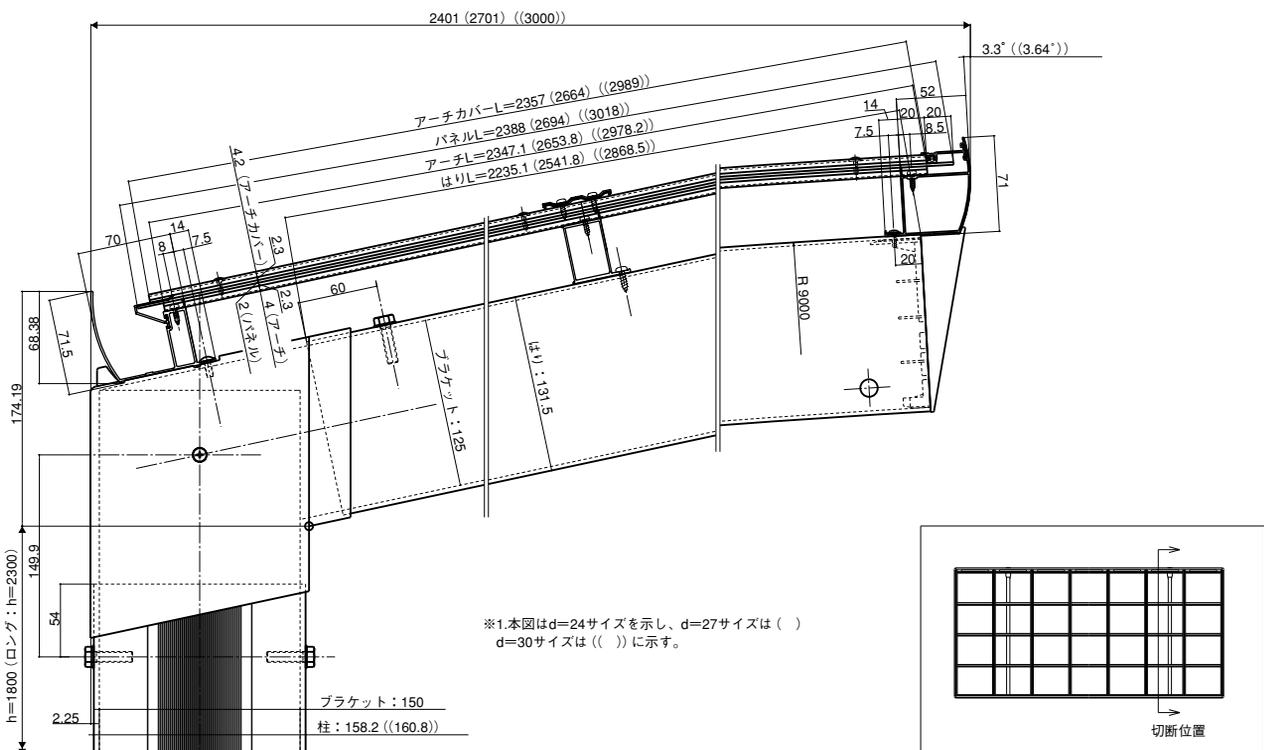
※建築基準法による設置の場合は、設置場所・現地耐力・設置条件により基礎サイズが上記寸法と異なります。別途資料を参照してください。

●縦連棟



※本図は h=18 サイズを示す。
 ロング柱仕様は、() に示す。
 ※本図は L=50 サイズを示す。
 L=57 サイズは、[] に示す。

●断面図



※1.本図は d=24 サイズを示し、d=27 サイズは ()
 d=30 サイズは (()) に示す。